

# 2019年度「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業 地域日本語教育スタートアッププログラム 報告書

団体名

豊丘村

(都道府県:長野県)

## 1. 当該地域の情報 (2020年 3月現在)

地域の課題	<p>村内に在住する100名を超える外国籍住民は、文化の違いや日本語が不自由なことから、コミュニケーションの不足で、子どもの教育や日常生活における課題を抱えていると考えられ、行政としても喫緊の課題となっている。</p> <p>そこで、文化庁の支援をいただき、外国籍住民が日本語を習得することを通じて、地域の構成員として自立していけるように支援することを念頭に、6月から12月までの月2回の日本語教室を開設してきた。</p>
在住外国人数 外国人比率	127人(1.89%)
在留外国人の 状況	<p>【主な国籍と人数】中国88人、フィリピン15人、ブラジル13人、韓国、アメリカ、イギリス各1人</p> <p>【在留資格】永住者93人、定住者10人、技能実習4人</p> <p>【滞在年数・在留期間などの状況】</p> <p>総人口に占める外国人の比率が年々増加しており、最近の傾向としてブラジル、フィリピン国籍の住民が増えている。在留資格では永住者が70%を超えている。</p>
在住外国人の 日本語教育の現状	<p>一昨年度、日本語教室開設に向けて行った在住外国人対象のアンケート調査によれば、回答者の7割が日本語の学習経験を持っている。その多くは独学であったり、家族や友達、職場で教わる人もある。中には専門的な資格を取得するため、近隣の飯田市内で語学の勉強をしている人もいる。</p> <p>しかし、今、日本語学習者は在住外国人の3割に満たず、上記の地域課題を勘案して、豊丘村においても開設の必要があると判断し、29年度から日本語教室を教育委員会として開設したものである。</p>

## 2. 事業の内容

本プログラム取組年数	3年目			
事業の目的	外国人住民の日本語習得を支援するとともに、教室活動の一環として国際交流イベントを開催するなど、共生の社会づくりをめざす。前期、後期制全12回をめやすに開催する。			
事業の概要	<p>○活動の柱</p> <p>① 外国人学習者と日本人サポーターの区別なく、参加者同士が話し合い、仲間として学習を進めることを念頭にする</p> <p>② 日常生活に役立つ日本語の学習</p> <p>③ 日本文化や母国の文化の相互理解</p> <p>④ 一般対象のイベントを前期、後期各1回開催</p> <p>⑤ ネットを使った活動状況の積極的な発信を行う</p> <p>前期:5月募集、6月～8月各月2回、但し、一般対象のイベントは8月実施。 後期:9月募集、10月～12月各月2回、但し、一般対象イベントは12月に実施。</p> <p>この他、長野県国際課の企画する外国人住民対象のアンケート調査に協力した。また、本活動の最終盤には、日本語教室の日本人サポーターが外国籍住民が集住する県営住宅団地の住民と懇談し、抱える課題を把握することに努めた。</p>			
事業の対象期間	2019年4月～2020年3月			
前年度の実績 (2年目以降の 団体のみ記載)	<p>○サポーターが事前に検討し、より生活に身近な学習プログラムを計画することができた。</p> <p>○サポーターの、外国人住民を支えたいという意識から、村にとっても外国人住民との共生が大切との共通認識が出来てきた。</p> <p>○教室活動の様子や、庁内関係課による日本語教室運営委員会により、役場内に外国人住民対策の必要性の認識が広がっている。</p>			
担当コーディネーター	氏名	所属	職名	担当する役割
	大澤 志那子		豊丘村コーディネーター	日本語教室担当
	波多野 智巳		"	"
担当アドバイザー	氏名	所属	職名	継続・新規の別
	石井恵理子	東京女子大学	教授	継続・新規(3年目)
	春原 直美	長野県国際化協会多文化共生 相談センター	センター長兼総括相談 員	継続・新規(3年目)
	原 千代子	青丘社	事務局次長	継続・新規(3年目)



#### 4. 具体的な取組内容

##### (1)年間を通じた取組内容

年月	主な取組内容	コーディネーターの主な活動	アドバイザーの来訪
2019年 4月	4/4、8、10、18 コーディネーターによる準備会議、及び昨年度の参加者を交えての学習計画準備会	学習計画づくりのコーディネート	
2019年 5月	5/9 コーディネーター会議 5/15、16 村内募集要項製作 5/21 第1回運営委員会 5/下 前期教室募集、外国人住民ニーズ調査用紙配布	学習計画づくり 募集要項翻訳 報道取材対応 運営委員会助言	★春原直美(学習計画づくり) ★原千代子(運営委員会)
2019年 6月	①6/13 前期教室開講(あいさつの方法) ②6/27 教室(中国の文化や生活の紹介)	教室運営のコーディネート	
2019年 7月	③7/11 教室(豊丘村の成り立ち、災害の歴史) ④7/25 教室(飯田下伊那地域の歴史と伝統文化) ○7/31 県営住宅住民のリサーチ活動準備会議(日本人スタッフ)	教室運営のコーディネート 県営住宅住民リサーチ活動の企画協議	★石井恵理子(県営住宅リサーチ)
2019年 8月	○8/1 県営住宅住民のリサーチ活動の企画調整(アドバイザーとコーディネーター会議) ⑤8/8 教室(交流イベントの企画) ⑥8/25 教室(交流イベントの開催)	県営住宅住民リサーチ活動の企画協議 教室運営のコーディネート	★石井恵理子(県営住宅リサーチ)
2019年 9月	○9/12 後期教室計画準備会議 ○9/下 後期教室募集	学習計画づくり指導助言 後期教室募集要項翻訳 日本語教育大会発表準備	
2019年 10月	⑦10/10 教室後期開講(日本語でメール) ⑧10/24 教室(歯医者のかかり方)	教室運営のコーディネート	
2019年 11月	○11/7 特別活動(文化祭展示準備) ⑨11/14 教室(保険・年金の話) ⑩11/28 教室(イギリスの文化)	教室運営のコーディネート	
2019年 12月	⑪12/7 教室(日本料理を学ぶ) ⑫12/12 教室閉講(一年間の教室活動の反省会)	教室運営のコーディネート	
2020年 1月	特別活動 ○1/7 県営住宅住民のリサーチ活動(懇談)のためのコーディネーター会議 ○1/27 県営住宅住民のリサーチ活動(懇談)のための準備会 ○1/30 県営住宅住民のリサーチ活動(懇談会)	県営住宅住民のリサーチ活動(懇談)のコーディネート	
2020年 2月	○2/20 県営住宅住民との懇談のまとめ ○2/25 教育長との懇談	懇談のまとめ指導助言 県営住宅住民との懇談結果を教育長に報告	
2020年 3月	○3/10 第2回運営委員会	一年間の活動報告と、次年度以降の教室活動のあり方について助言	★春原直美(運営委員会)

(2) 立ち上げた日本語教室の詳細

教室の名称	豊丘村日本語教室「だんだんにほんご」						
外国人参加者について	[国籍]中国7名, ベトナム1名, アメリカ2名, イギリス1名, ニュージーランド3名 [属性]永住者、日本人の配偶者等が主な対象	参加者数 (内 外国人数)	受講14名 支援者11名 (日本語指導者1名、サポーター10名)				
開催時間数	総時間 26.5時間	内訳	2時間×11回(通常の教室)+4.5時間(夏の交流イベント)				
目標	外国人学習者と日本人サポーターの区別なく、参加者同士が話し合い、仲間として学習を進めることを念頭にすすめた。具体的には、日常生活に役立つ日本語の学習、日本文化や母国の文化の相互理解、一般対象のイベントの開催、ネットを使った活動状況の積極的な発信を行った。						
実施内容							
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	内容	授業概要	支援者数
1	2019年6月13日(木) 19:00~21:00	2	豊丘村交流 学習センター ゆめあて	9	あいさつの方法	・開講のあいさつ(教育長) ・自己紹介 ・催しの際の日本語の挨拶の方法	サポーター1名
2	2019年6月27日(木) 19:00~21:00	2	豊丘村交流 学習センター ゆめあて	13	中国の文化や生活 の紹介	・中国の人たちの生活文化、中国の子供の遊びの紹介 ・簡単な中国語	サポーター1名
3	2019年7月11日(木) 19:00~21:00	2	豊丘村交流 学習センター ゆめあて	9	豊丘村の成り立ち、 災害の歴史	・合併による豊丘村の成立、その当時の村の課題 ・36災害(昭和36年梅雨前線豪雨災害)のもよう	サポーター2名
4	2019年7月25日(木) 19:00~21:00	2	豊丘村交流 学習センター ゆめあて	10	飯田下伊那の歴史 と文化	・民俗芸能が多彩に残るこの地域の歴史文化の特徴(大鹿歌舞伎、遠山の霜月まつり、人形浄瑠璃、新野の雪まつり、新野の盆踊り、和合の念仏踊り、清内路の花火、各地の獅子舞)	サポーター1名
5	2019年8月8日(木) 19:00~21:00	2	豊丘村交流 学習センター ゆめあて	11	交流イベントの計画 づくり	・8/25開催予定の交流イベントの企画の話し合い	
6	2019年8月25日(日) 13:00~15:00	2	豊丘村交流 学習センター ゆめあて	20	交流イベント	・囲碁ボール体験 ・ベトナム、イギリス、ニュージーランドの子供の遊び体験	
7	2019年10月10日(木) 19:00~21:00	2	豊丘村交流 学習センター ゆめあて	9	日本語でメール	・メール文の作成	サポーター1名
8	2019年10月24日(木) 19:00~21:00	2	豊丘村交流 学習センター ゆめあて	11	歯医者のかかり方	・歯が痛い時の説明の仕方 ・歯の病気 ・歯磨きの方法	歯医者1名
9	2019年11月14日(木) 19:00~21:00	2	豊丘村交流 学習センター ゆめあて	12	保険・年金の話	・日本の健康保険制度のしくみ、国民年金制度の説明	役場職員1名 サポーター1名
10	2019年11月28日(木) 19:00~21:00	2	豊丘村交流 学習センター ゆめあて	12	イギリスの文化	・連合王国としてのイギリスの地理 ・自分の半生の紹介 ・尺八の演奏披露	サポーター1名
11	2019年12月7日(土) 19:00~21:00	2	豊丘村交流 学習センター ゆめあて	14	日本料理を学ぶ	・お正月料理の作り方	サポーター2名
12	2019年12月12日(木) 19:00~21:00	2	豊丘村交流 学習センター ゆめあて	12	一年間の教室の反省	・一年間の講座の振り返りと次年度への展望の話し合い	

【主な活動】



中国の文化や生活の紹介



歯医者のかかり方



日本料理(巻き寿司)を学ぶ

### (3)その他関連する取組

取組名称	実施期間	内容
県営住宅住民のリサーチ活動	2020年1月30日 19:00~21:00	日本語教室活動の特別活動の一環として、外国人住民の24%が集住する県営住宅において、外国人住民のみで構成される世帯に呼びかけ、抱える課題について聞き取りするため懇談を行なったが、今後、自主的に再出発することになる日本語教室活動のあり方に影響を及ぼすことになるものと思われる。

#### 【主な活動】



県営住宅住民のリサーチ活動1



県営住宅住民のリサーチ活動2

## 5. 今年度事業全体について

進捗状況	当初計画した教室の活動は、一部プログラムは前後はしたが実施することができた。
成果	学習計画づくりを外国人学習者と日本人サポーターの区別なく、一緒に作成することができ、また、講師役を務めるなど仲間づくりが進んだ。特に、県営住宅住民を対象にしたリサーチ活動が実現できたことは、次年度以降の自主的な教室活動の目標設定にもつながるものとなった。
地域の関係者との連携による効果	役場関係課との共通理解ができた。
コーディネーターの主な活動	①学習プログラム作り(31h) ②県営住宅住民リサーチ活動調整(33h) ③教室運営ための調整(53h) ④翻訳(4h) ⑤運営委員会(10.5h) ⑥日本語教育大会資料作成(3h) ⑦取材対応(2h)
アドバイザーの主な助言	学習計画づくり、運営委員会における指導のほか、特別活動として行なった県営住宅住民のリサーチ活動の企画に際し、適切な指導助言が得られた。
今後の課題	3年間の文化庁の支援は終わるが、外国人が増えており、外国人住民が集住する県営住宅住民のリサーチ活動から、以下のような課題が見えてきた。今後は、行政全体として多文化共生の共通理解がすすむことが必要である。 【外国人住民が抱える課題として考えられること】 ○年齢の高い人に対する日本語の支援、○親子の言語が異なることによる親子のコミュニケーション不足、○親子で母語が異なることによるアイデンティティの欠如、○防災意識の向上、○子どもの教育相談へのきめ細かな対応(学校若しくは教委に日本語教育指導者の確保)、○課題に寄り添う生活支援(悩みごと相談、通訳の配置、またはAIの活用)
今後の予定	文化庁の支援をきっかけに継続的な教室活動の実績ができ、外国人住民と日本人サポーターとの信頼できる関係が構築できたので、次年度からも引き続いて自主的な教室活動を続けていく。特に、県営住宅住民の課題に寄り添う活動が期待される。

本件担当 : 教育委員会(公民館)